

ツバキ
千秋病院にて
柴田 伸治さん

尾張健康友の会 ニュース

発行責任者 尾張健康友の会 会長 上平 安秋
〒491-0815 一宮市千秋町塩尻字山王7-5
☎0586-76-8312 FAX0586-76-9424
ホームページ <https://www.chiaki.com/>

2024年2月 NO.429

2023年12月現在 友の会員数 4,958 (内社員数822)

健友ネット集會

2月11日に開催します

詳細は2面をご覧ください

いのちの相談所

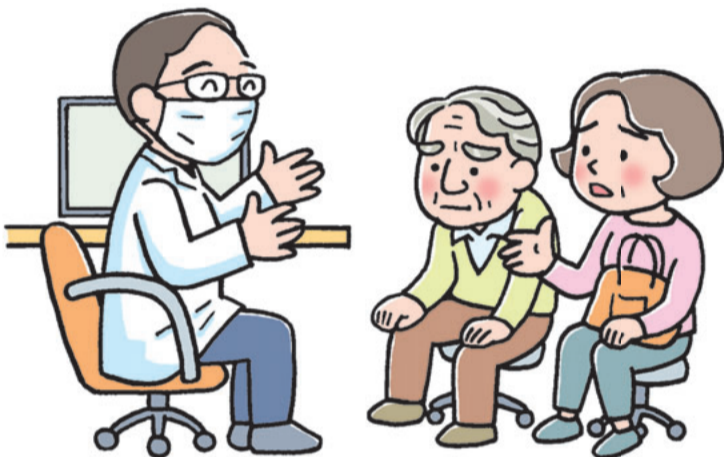
2月14日 於・のわみ相談所



認知症の不安は 遠慮なくご相談ください



千秋病院 物忘れ外来



私の考える

認知症外来(物忘れ外来)

千秋病院 医師 平川仁尚

認知症は経過が長いので、医師との付き合いは必然的に長くなります。私は、認知症を専門にしたかかりつけ医を目指しています。

「家族にも安心を」

認知症になると言葉がうまく出てこない、言葉の意味を理解できないことが多くなり、家族は本人とのコミュニケーションにストレスを感じると思います。認知症患者さんと家族に安心してもらうために、まずは「相談しやすい」「信頼できる」「ずっと通い続けたい」

と感じていただける医療を心がけています。

信頼関係が大切

認知症は、本人・家族の健康状態に悪影響を及ぼします。その影響は身体だけでなく、精神的、社会的な面にも及びます。私は、本人の身体だけでなく、一人の人として総合的に診ることができ、医師でありたいと思っています。



また、患者・家族も認知症について学び、主治医からの情報と自分が学んだことを擦り合わせ、分からないことや確認したいことがあれば気兼ねなく質問し、希望があれば率直に伝え、困ったことがあれば遠慮なく相談することが大切です。そのように主治医とのコミュニケーションを重ねることで信頼関係が生まれます。この信頼関係は、認知症と付き合っていく上で何よりも大切なことです。

認知症の診察においては、まず病気の状況や今後の治療法について主治医から説明がなされ、患者さん一人ひとりで、病状や困りごとは異なるため、主治医に本人の日常生活の様子や本人・家族の意向を汲みとってもらい必要があります。

平川医師に「なんか変だな」と思ったら 聞きました 気軽に受診してください



診察で大切にしていることは「安心してもらうこと」。認知症の方は、なんだか分からないことが不安で、もやもやしている状態です。本人に病気ということを知ってもらうことで、本人の名誉も守れ、薬などで進行を少しでも遅らせることもできます。物忘れ以外にも「性格が変わった」などの症状もあるので「なんか変」「なんか困ってる」で来てもらっていいですよと呼びかけます。

物忘れ外来は、その名の通り「物忘れ」で困っている方の窓口です。認知症による症状に対して薬のアドバイスや、必要に合わせてケアマネジャー等と協働し、多角的にアプローチします。皆さんに「落ち着いてよかったね」と言ってもらえる状況を作り出すことを目指しています。

■受診日 月曜日 午後(予約制)
木曜日 午前(予約制)

外来受診時は

インターネットや雑誌、テレビなどで認知症関連の情報に触れたり、日常生活でさまざまな困難に直面すると、主治医に確認したいことが次から次へと湧いてくると思います。しかし、いざ主治医と対面すると、あがってしまい、聞きたいこと、伝えたいことを忘れてしまうこともあるでしょう。

私の外来では、どうぞ遠慮なくご質問ください。その際には、質問事項をあらかじめメモして頂くことをおすすめします。

よくことをおすすめます。とくに外来の場合は診療時間も短いので、質問事項は箇条書きにして、優先順位をつけておいていただくと助かります。

また、どうしても医師に相談しにくい場合は、認知症に詳しい看護師やケアマネジャー、相談員などの専門職に相談してください。認知症診療・ケアでは、一人ひとりの患者さんをいろいろな職種スタッフがチームとなって支えています。きっと皆さんの力になってくれることでしょう。

戦争反対!

憲法9条まもれと毎月19日、稲沢市の名鉄国府宮駅前で市民が訴えている。大きな看板には「9条壊すな」と書いてある。15年9月19日に安全保障法制が強行採決されたのち始まった。19日行動と呼び、この2月で100回を数える▼安保法制は国民の命を守る法律ではない。アメリカからミサイルを大量に買って、軍事費8兆円。2年で2兆5千億円増だ。隣国は「また日本が攻めてくる」と軍事開発に力を注ぐ。安保どころか戦争を呼び込む法律だから、市民はこれを「戦争法」と反対している▼岸田首相に「日本の憲法を誇れ！」の声が集まり始めている。平和外交中心で戦争否定を高らかに宣言せよという趣旨だ。軍事費増は社会福祉を後退させる▼19日行動は、雨が降ろうが雪が舞おうが一度も休んだことはない。「それで何か変わったか」と問われれば「？」だ。しかし、あきらめない。粘り強さは沖縄から学んだ。改憲勢力が国会で3分の2を超えても国民投票へと動けないのは、9条壊すな声が6割を超すからだ(土)